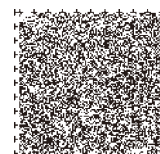

第6次 所沢市総合計画 基本構想及び前期基本計画

令和元（2019）年度～令和10（2028）年度

所 沢 市



「絆、自然、文化 元気あふれる『よきふるさと所沢』」 をめざして

所沢市は、都心から30kmの首都圏に位置する、豊かな自然と都市機能が調和したまちであり、埼玉県南西部の中心的な都市であります。

本市では、平成27（2015）年度から平成30（2018）年度の4年間を計画期間とした「第5次所沢市総合計画後期基本計画」を基に、将来都市像の実現に向けてまちづくりを計画的に進めてまいりました。

この間、「動け！所沢 紡ごう！絆」を合言葉に「人と人との絆を紡いでいこう」「自然と調和した生き方を模索しよう」、思うより動く、実践者を大切にしよう、と声かけあって、日々市政を進めてまいりました。が、その原点には東日本大震災と原発事故で私たち誰もがきっと感じたであろう「あの思い」がありました。

そして、この度、今までの思いをしっかりと土台に据えて、「SDGs」の観点も踏まえながら、「第6次所沢市総合計画基本構想」及び「第6次所沢市総合計画前期基本計画」を策定いたしました。

基本構想では、将来都市像を「絆、自然、文化 元気あふれる『よきふるさと所沢』」と定め、これを実現する前期基本計画では、市政運営に必要な事項を分野別に7つの「まちづくりの目標」とし、各目標が相互に連動しながら、持続可能なまちづくりを進めることといたしました。また、市の姿勢を分かりやすく示すため、特に重点を置いて進める取り組みを「リーディングプロジェクト」として掲げました。

私といたしましても本計画を着実に進め、未来の子どもたちに誇れる“善きふるさと”を創り、継承していくため、市職員とともに力を尽くしてまいります。市民の皆様におかれましては今後とも一層のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、本計画の策定にあたり、市議会をはじめ、総合計画審議会や市民検討会議、パブリックコメント手続や市民意識調査など、さまざまな機会を通じてご協力いただきました多くの市民の皆様にご心から感謝と御礼を申し上げます。



平成31年 3月

所沢市長 藤本正人

